

打出のこづち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会予算委員会

9月28日の県議会予算委員会において、「新型コロナウイルス感染症対策」、「公共施設の整備」について、発言させていただきました。

また、「新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見等の根絶に関する決議」を起案させていただき、他会派とも共同提案のうえ、全会一致で可決いただきました。

決議の内容はこちらをご覧ください。▶



新型コロナウイルス感染症対策について

①医療機関について

Q1 医師会との集合契約に参加した医療機関を、今後、国が示す診療・検査医療機関（仮称）として指定するのか。また、指定した場合、公表すべきと思うかどうか。

A. そうなるものと考えているが、具体的な周知方法を含め、今後、県内の医療関係者と協議しながら検討していく。

Q2 県が新たに設置する「新型コロナウイルス感染症受診相談センター」は、国が示す受診・相談センターの業務を担うのか。

A. 国が示す役割にこだわらず、発熱患者等が受診先に困ることなく必要な診療や検査を受けることができるよう、積極的に取り組んでいく。

Q3 医療機関から防護具の不足を指摘する声があるのは、国において必要な防護具が確保されなかつたためだと思うがどうか。また、国による防護具の配付が不十分であることを想定し、県も対応すべきと思うがどうか。

A. 春先の感染拡大期は、個々の医療機関では入手が極めて困難な状況の中、国が一定量を確保し、感染者の多い都道府県を中心に定期的に配付いただいたことにより、当時の厳しい状況を乗り越えることができたと考えている。

県も、緊急時に対応できるよう、国から配付されたものを順次備蓄している。今後とも、国と連携しながら、必要となる医療物資の確保にしっかりと取り組んでいく。



予算委員会での質問の様子

②消防・救急隊について

Q1 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国と同様に、本県でも救急搬送の困難事案が増加したのか。

A. 金沢市消防局では、昨年に比べ若干増加したものの、各消防本部の救急活動には、支障を生じていないと聞いています。

Q2 救急隊により搬送された新型コロナウイルス感染患者は、感染疑いを含めて何人いたのか、実際の陽性者数と併せて聞く。

A. 3月から9月20日までの期間で、感染疑いのある方も含め、313人を搬送した。その内、初めから陽性とわかつていた方が65人、後に陽性と判明した方が25人いた。

Q3 救急隊の感染防止資機材の確保に向けて、各消防本部と、どのような連携体制を構築していくのか。また、消防職員が安心して活動できるよう、県としても積極的に取り組む必要があると思うがどうか。

A. 毎月、各消防本部との間で資機材の在庫状況を確認する連携体制を構築し、消防庁に対し、在庫が少なくなった資機材の配付をお願いしてきた。

消防隊員が安心して活動できるよう、必要な指導や助言を行っており、感染防止資機材の確保に向けた調整や、消防本部内で感染者が発生した場合の近隣の消防本部相互間での応援実施の指導等を行っている。

③ 石川県庁について

Q1

2月から直近までの、管理職を含む過労死ラインを超える時間外勤務の状況を聞く。また、客観的な記録を基礎として勤務時間を把握する方法の導入について、昨年12月の予算委員会で、今後研究していくとの答弁があつたが、現在の状況を聞く。

A. 2月から8月までの間で、180人となっている。本県の勤務時間管理の在り方については、タイムカードなど他県の取り組みを把握することなどにより、具体に検討している。

Q2

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、行政機能が停滞しないよう、安全衛生委員会等の場で感染予防対策を議論することが重要と思うかどうか。

A. こうした場での議論は、各職場の実態に応じた有効な対策につながっていくものと考えている。安全衛生委員会等も活用しながら、県庁における感染拡大防止対策に取り組んでいく。

公共施設の整備について

① 産業技術専門校について

Q1

各産業技術専門校修了生の就職率と、県内就職の割合を聞く。

A. 平成30年度の就職率は、小松校87%、金沢校96%、七尾校96%、能登校85%。うち県内就職割合は、小松校・金沢校100%、七尾校92%、能登校96%。

Q2

金沢、七尾、能登の各産業技術専門校は、早急に耐震診断が必要と思うかどうか。また、改築計画の検討を始める時期と思うかどうか。

A. これまで随時、修繕を行っており、現時点では、耐震診断を行う予定はない。訓練環境の充実強化や、企業の人材ニーズに応じた職業訓練の実施が肝要であり、企業ニーズに対応した人材育成に取り組んでいく。

お住まいの地域で困ったことはございませんか？

[解決事例]

デコボコ路面の舗装・補修工事の実施

地元の方から「善光寺坂の路面がデコボコで、シルバーカーやベビーカーがつまずき困っている」とのご連絡をいただきました。金沢市役所に住民の声を届けたところ、舗装・補修工事を実施していただきました。

打出きよふみ事務所

金沢市小立野 3-23-27 近藤ハイツ 1階
TEL : 076-260-1655 / FAX : 076-209-6715
E メール : info@uchidekiyofumi.com

② スポーツ施設について

Q1

青少年のスポーツ振興に向け、どのようなソフト事業を行っていくのか。

A. 10月に最新機器を活用した小学生の運動能力測定会、11月に県内のトップスポーツチームと連携したスポーツキッズフェスタを開催するとともに、選手たちが小中学校を訪問し指導を行うスポーツ教室を来年3月までに40回程度開催する。

Q2

計画的にスポーツ施設の整備を進めていくことが必要と思うがどうか。

A. 新たに整備する際の整備費や、その後の管理費等で多額の費用を要するため、利用者の利便性の向上や、施設の機能充実の視点で優先順位を整理するとともに、県財政の状況も見極めながら検討していく。

③ 赤ちゃんの駅について

Q1

県関係施設の登録数を聞く。また、県関係施設を再点検して、登録を進めるべきと思うがどうか。

A. 現在、15の県関係施設が登録されている。

登録要件を満たしている施設については、今後、関係部局と連携し、登録を進める。

Q2

子育て支援先進県として、乳幼児をもつ家族が訪れる県関係施設には、授乳やおむつ替えの専用スペースを整備することが重要だと思うがどうか。

A. これまででも、県立中央病院や金沢港のクルーズターミナル等に授乳等が行える場所を整備してきた。今後とも子育て環境のさらなる充実にしっかりと取り組んでいく。



地域でお困りのこと、
お気軽にご連絡ください！

県議会予算委員会の録画を
こちらで視聴することができます。
ぜひご覧ください。

